

だれでも
自由に
あそびに来てね!!

ながたの森であそぼう!



やってる日は
いつでもスタッフが
いるよ!
キミの「やってみたい!」を
やってみようー!

あそぶのに
もうしこみは
いらないよ!
あそぶのに
お金はいらないよ!

2016.7 月号

たもっ



8/10(水) 11(木) 12(金) 木々があるよー!!



やってるばしょ



■なかだ小とふれあいホールのとおり ■じてんしゃおきばがあるよ

やってる日

水曜森が土曜森におひっこしたよ!

7月	8月	9月	10月
1日 (金)	10日 (水)	2日 (金)	7日 (金)
8日 (金)	11日 (木)	9日 (金)	8日 (土) えよう△だよ!
9日 (土) えよう△だよ!	12日 (金)	10日 (土) えよう△だよ!	14日 (金)
15日 (金)		16日 (金)	15日 (土) えよう△だよ!
16日 (土) えよう△だよ!		17日 (土) えよう△だよ!	21日 (金)
22日 (金)		23日 (金)	28日 (金)
29日 (金)		30日 (金)	

やってる時間 10じ~5じ ☂ あめでもやってるよ

今、なぜプレーパークが必要か！？



プレーパーク「なかだの森であそぼう！」は、『自分の責任で自由にあそぶ場』です。
日本初のプレーリーダー天野秀昭さんは、『子どもは昔から、あぶなく (A)、きたなく (K)、うるさい (U) 存在だった。変わったのは子どもではなく、それを「迷惑」と受け止める大人や社会の意識のほうだ』とおっしゃっています。

あそびは、「やってみたい」気持ちそのもの。
「あぶない」「きたない」「うるさい」ものです。
やりたいことを自分のやり方や自分のペースでやり、工夫し、失敗もあるかも。でも、それが次の知恵や工夫を生み、生きる力になります。

しかし、現在、「あぶない」「きたない」「うるさい」子どもを社会全体が嫌がって、躰の対象となっています。
『あそび』でさえ、「正しい」「間違い」に分類され、管理される世の中です。
子どもは常に、大人に「正しさ」を求められ、生きています。

こんな時代だからこそ、子どもが子どもらしく過ごせる場所、
子ども自身が挑戦し、試行錯誤できる場所を
私たち大人が子どもたちに創り続けている必要があると感じています。

※「なかだの森であそぼう！」は、子ども・子育て新制度「新！ひのっすくすくプラン」の中の「遊び場の充実」として、プレーパークという名前で重点的取り組みとして位置づけられています。



メルマガ登録をしませんか？

メルマガ登録をしていただくと、その月の活動予定やメルマガだけのつぶやきを月に1回、第1木曜日にお届けします！
ご登録はコチラから→



私たちの活動をご支援下さる 会員および寄付を募集しています！

「なかだの森であそぼう！」は日野市の子どもたちが豊かな子ども時代を過ごすために、子どもたちがに日常に「やってみたい！」に挑戦できる『子どもが主人公の居場所』づくりを目指しています。

■寄付 一口1,000円 ■応援会員 年3,000円

※NPOの運営に参加できる正会員(年6,000円)もあります。

詳しくは…



「子どもが主人公の居場所」を創り続けよう！
子どもがいるからつながる「人の輪」を広げよう！

特定非営利活動法人

子どもへのまなざし

発行：NPO 法人 子どもへのまなざし

協力：日野市一中地区青少年育成会

発行日：平成28年7月15日

〒191-0024
東京都日野市万願寺 1-25-8
TEL 050-3721-1973
(月～木/13時～17時)
<http://manazashi2009.sakura.ne.jp/>